

令和元年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立中之島幼稚園

教育目標

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況
魅力いっぱい の元気な幼稚園	遊びを中心とした生活を通して、主体的に活動できる人間性豊かな 子供を育成する。	心豊かな子供 保・幼・小連携教育で豊かな情操を培う	「一緒にプール遊び」「砂場で遊ぼう」「折り紙で遊ぼう」等、小学生との交流・保育所園児との交流を、各学年、学期ごとに行い、全体で10回行った。
		豊かな体験を共有する	「一人一鉢での野菜、花育て」「砂場遊び」「畑で作物づくり」「遠足・園外保育」等、園児の驚きや感動を大切に、様々な体験活動を実施した。
		温かい人間関係を築く	「敬老参観」「未就園児の集い」「保・幼・小の交流」「地域お店見学体験」等、周りの人に積極的にかわる活動を保育に取り入れてきた。
	たくましく主体的に活動 できる子供	自ら進んで遊ぶ	登園した子から、自分で遊びたい場所・遊び方を選び、遊びに没頭できる時間と場所等の環境を整えながら保育実践してきた。
		基本的な生活習慣を身につける	養護助教諭が各クラスに「歯磨き」「手洗い」等、指導に入った。また、毎日の清掃活動、遊具の安全な使い方などに、子供とともに取り組んだ。
		食育を推進する	「お汁粉」「手作りおやつ」や、給食を通して食への興味関心を高め、園の梅で「梅ジュース」。畑のイチゴ・サツマイモ等で、食育に積極的に取り組んだ。
	自分と表現できる子供 伸び伸び	図書に親しみ楽しむ	地域ボランティアによる「素話」を年間5回お願いした。また、担任の日々の読み聞かせを大切に、「うちどく推進」にも取り組んでいる。
		体験したことを伝える	しっかり心体を動かし、楽しい体験を重ねることで、進んで表現したくなる保育を心掛けた。今後も言葉や製作、絵画等で自分表現できる子にしたい。
		自尊感情を高める	「やった」「できた」という成功体験を積むことを大事にした保育実践に心掛けた。「友達も頑張ってるね」という、子供相互の賞賛の取組も大事にした。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

「施設は、使いやすく整備されている」と、思わないと分からないが多い。毎朝職員全体で、玄関から中庭清掃し整理整頓を欠かさずしている。また、園舎の周り、園外の塀の周りを必ず歩き安全点検している。広い砂場も長期休みに耕運機で耕し、楽しく砂遊びができるようにしている。このように安全・安心で子供たちがしっかりと遊べるような取り組みをしていることをきちんと知らせる必要があると反省。ただ、「園舎が古いので」という意見には対応できないが。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

自由に遊び異年齢交流も自然にできるような時間と場所を確保し、主体的に活動できる環境を大事に保育を進めてきた。「子供が楽しそうに幼稚園に通っている」が96%で「思わない」は0%である。100%ではないが、おおむね「楽しい」と、応えてくれた。これに応えられるよう、今後も幼稚園は、まず、安全で安心できる、子供が楽しいところと感じられるような受け入れ方を心掛け、不断の努力をしたい。

学校関係者評価委員による自己評価の検証

保護者の不安払拭にコロナウイルスに対する園での取り組みの説明会を開いたり、園だより・クラスだより・保健だより等で、情報発信にも努めていることが保護者の信頼を得るのに良い事です。食育等にも取り組み、体験的な学習の中で、子供たちが自分の力を出し切って学んでいる姿を見せていただいた。遊びを通して、学び・成長していく、とても大事な時期と思います。互いの良さを認め合いながら子供たちの心と体が成長していく様子が嬉しいです。個性のある子供たち一人一人に、先生方が園全体で、愛情をもって指導してくださっていることがわかりました。